

## 令和8年度 第1回 広島支部評議会議事概要報告（速報）

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                               |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 開催日時                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 令和8年7月13日（月）15：00～17：00                                                                                                       |
| 場 所                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 広島支部 大会議室                                                                                                                     |
| 出席議員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | （学識経験者）鈴木 喜久、中野 幸恵、畑 雄太<br>（事業主代表）石突 泰江、中島 潤子<br>（被保険者代表）西岡 洋、宮城 和史（敬称略）                                                      |
| 議 題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和7年度決算見込み（医療分）について</li> <li>2. 令和7年度 広島支部事業実施結果について</li> <li>3. その他報告事項</li> </ol> |
| 議事概要<br>（主な意見）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                               |
| <b>議題1. 令和7年度決算見込み（医療分）について</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                               |
| <p>事務局より「令和7年度決算見込み（医療分）について」、資料に沿って説明。個別の意見等については、以下のとおり。</p> <p>（学識経験者代表）</p> <p>協会けんぽの準備金について、保険給付費等に要する費用のおよそ7.2か月に積み上がっているようだが、増加傾向にあるのか。</p> <p>⇒ 協会設立当初は単年度収支が赤字傾向であったが、平成22年度以降、平均保険料率を9.34%、9.5%、10%と順次引き上げた。この結果、単年度収支の黒字が続き準備金残高が年々積み上がってきたところである。</p> <p>（学識経験者代表）</p> <p>団塊の世代が後期高齢者となり今後も後期高齢者支援金が増加する見込みであるということだったが、その先の長期的な財政状況についてどのように考えているのか。</p> <p>⇒ 団塊の世代が後期高齢者となったことで、高齢化のピークである2040年頃までは、後期高齢者支援金が高い水準で推移すると見込んでいる。また、団塊ジュニアと呼ばれる世代の医療費が、高齢化により増加していくことが予測され、協会の保険給付費も高い水準が続くものと考えている。そのため当面の間、支出の面では厳しい状況が続くものと考えている。一方、収入については生産年齢人口の減少による保険料収入の減少や、国庫補助率（現在16.4%）の取り扱い等、先行きが不透明な部分があり見通しが立てづらい状況である。</p> <p>（学識経験者代表）</p> <p>準備金について、企業の負担感に留意したうえでどこまで積み上げていく予定なのか、今後の取り扱いを考えていただきたい。</p> |                                                                                                                               |

⇒ 準備金の取り扱いについては各支部の評議会においても意見が出ているが、どこまで積み上げるべきかの整理はしていない。引き続き議論のうえ方向性を検討することが必要と考えている。また、準備金の運用を開始したが、リスクも考慮しつつ運用益を出すことによって、保険料負担の軽減に繋げることができればと考えている。単年度収支が赤字にならないようにすること、保険料を将来の医療費適正化に繋げるような活用をすることが重要と考えており、今年度から人間ドック健診補助事業や、生活習慣病予防健診の対象拡大（若年層や被扶養者への拡大）を順次行うが、保健事業を充実させることにより、将来的な医療費上昇を抑えていきたい。

（学識経験者代表）

この議題について、2つの視点から財政安定を図ることができるのではないかと考えている。

1点目は、人間ドック補助事業等による保健事業の推進によって、医療費の増大に対して早期から対策を行うということ。事業を行うことによって医療費にかかる支出が減少し、保険料率の引き下げに繋がるのかについて検証を行いながら、効果的に行っていただきたい。

もう1点は国との関係における視点であり、16.4%の国庫補助率を今後も維持するための対策を講じる必要があるということ。国の方針（骨太の方針）や準備金の積み上がりを踏まえると、協会の財源に対して何らかの動きがあることも考えられる。協会としては、収支見通しのシミュレーションで精緻な見通しを立て、根拠に基づいて10年後、20年後の財政を見据え、国庫補助率等についてしっかり主張できる準備をしておくということが求められる。また、こういった評議会の場で活発な議論を行うためにも、今後の財政状況をめぐるシミュレーションについてより一層多くのケースを提示いただき、検討する材料とさせてもらいたい。

⇒ 先般、財務大臣と厚生労働大臣との折衝において、国庫補助率の見直しについて今後3年間で検討することとされた。ご意見を踏まえ、しっかりと主張できるよう努めていきたい。

## 議題2. 令和7年度 広島支部事業実施結果について

事務局より「令和7年度 広島支部事業実施結果について」、資料に沿って説明。個別の意見については、以下のとおり。

### 【業務グループの事業実施結果に対する個別意見】

（学識経験者）

社労士として、この1月から電子申請の利用に取り組んでいるところであるが、処理が非常に早くなり、また、審査の進捗に関する問い合わせの手間が減った。被保険者の利便性も格段に良くなっているという点で評価している。

また、職員における業務の見直しを行ったという点についても評価したい。集中的に件数の多い申請等を処理していくことで、迅速な支給決定に繋がっているのだと思う。

- ⇒ 広島支部の社労士における電子申請の利用率は高く推移しており、感謝申し上げたい。  
一方、加入者を含めた広島支部全体の利用率は全国平均を下回っており、課題があるといえる。今後、さらに利用率を向上させていきたいので、評議員の皆様の事業所や関係団体との会合等でお声がけいただくなどのご協力をいただきたい。

#### 【レセプトグループの事業実施結果に対する個別意見】

（被保険者代表）

KPI の設定方法が対前年度以上となると、好調な結果を出した次の年度における KPI の達成がどうしても難しくなるような仕組みであると感じた。例えば、前年度以前 3 年間の平均値を KPI とすると、前年度実績の影響を受けにくくなるのではないか。ここ数年間の達成状況はどのような推移となっているのか。毎年、達成と未達成を繰り返しているのか。

- ⇒ 達成と未達成を繰り返している。なお、医療機関や社会保険診療報酬支払基金におけるレセプト審査の精度が向上してきているため、協会におけるレセプト審査の難易度が向上していることも、目標達成が困難となっている要因の一つである。協会におけるさらなる努力が必要となる状況に至っている。
- ⇒ 現在、本部において策定している 9 年度以降の中期計画の中で、KPI 設定基準の見直しが行われる見込みである。支部としては、努力の結果がより適切に反映されるものを期待している。

（学識経験者）

レセプト点検については AI を活用することで非常に効率化されると思われるが、導入状況はどうか。

- ⇒ 点検員が目視による審査を行う前に、システムで機械的にある程度のフィルターをかけているが、AI の導入には至っていない。先ほど社会保険診療報酬支払基金におけるレセプト審査の精度が向上していると申し上げたが、この機関はすでに AI 導入を行っており、90% 程度を AI による審査により行っていると聞いている。協会けんぽに到着する前に AI 審査を行ったレセプトを、目視によって協会で審査しているという状況である。
- こういった背景も、査定率低下の一因となっていると思料する。なお、協会としてレセプトの AI 審査を導入するかは未定であるが、DX 化の観点から、導入を検討する余地はあると考えている。

#### 【保健グループの事業実施結果に対する個別意見】

（事業主代表）

未治療者への勧奨文書について、どのような内容であるのか。例えば、受診先の病院がどれくらいあるかといった詳細な情報は掲載するのか。

- ⇒ 医療機関を具体的に紹介することは公平性等の観点から控えているが、代わりに医療情報ネット（ナビイ）という医療機関検索システムを紹介するという方法をとっている。また、個々の数値を改めてお示しするほか、複数の所見が組み合わさって疾病の発症リスクが高まることをお伝えし、医療機関受診に繋がるようアプローチを行っている。

（事業主代表）

勸奨文書を受け取った側は、まずどこの病院に行ったらよいかわからない方が多いと思われるので、その点については引き続きフォローをお願いしたい。

（被保険者代表）

直近の未治療者における件数の推移はどのようになっているのか知りたい。

また、自社の取り組みを紹介するが、自社では安全衛生委員会において、部署ごとに健診結果が高リスクである方の人数と割合を一覧化し共有する。その後、各部署に内容を連携し、上司から要治療者へ手紙を渡して受診勧奨を行うといった取り組みを行っている。

また、産業医が在籍している事業所へは、産業医から事業所への要請を行うことで、事業所における意識の変化に繋がるのではないかと思料する。協会けんぽにおいても、産業医等を巻き込んだ施策を検討してはどうか。

- ⇒ 経年推移の数値データは本日持ち合わせていないが、例年、健診受診者の1割程度が該当しており、増減の傾向については、少なくとも減少傾向ではないというのが現場での認識である。現在、個人への受診勧奨が主な取り組みとなっているため、ご提案いただいたとおり事業所から従業員の方へ受診勧奨を行っていただけるような働きかけを行っていきたい。

（学識経験者）

特定保健指導について、その支援内容は非常に魅力的なものであるのにもかかわらず実施率が20%程度にとどまっているのはもったいない。健診結果から高リスク者を健診当日に抽出してそのまま利用いただくような流れをどのように作るかが大きな課題であると感じている。まずは初回面談を受けていただくために、利用までの警戒心が軽減されるような流れを工夫して作れば、実施率は大きく伸びるのではないか。

- ⇒ 対象者に警戒されないようにするという視点は非常に重要なものであると認識している。また、特定保健指導は、実施分の75%を健診機関等の委託先において実施しており、委託先で行っている当日の特定保健指導はさらに拡大させていきたい。
- その中で、各健診機関でのノウハウや好事例を展開し、スムーズな特定保健指導の実施と支援内容の質の向上を図ることについても重要視している。健診機関の経営層や健診部門も巻きこんで、より効果的な事業の実施に努めたい。
- ⇒ 特定保健指導の実施率向上に向けて課題が2点ある。1点は健診機関における人員不足である。実施に当たっては保健師もしくは管理栄養士の有資格者が必要となっているため、健診機関へ人員の確保を引き続き要請する。もう1点は健診当日に特定保健指導を利用しなかった方へ後日どのようにアプローチするかという点である。事業所を通じて利用勧奨を行うが、なかなかアポイントが取れないのが現状である。特定保健指導は加入者本人に対する法的な義務が課せられていないので、本人へ強く利用勧奨を行うのが困難という面が要因の一つともいえる。そこには、事業所の協力が必要であるといえるため、協会としては事業所へのアプローチも引き続き強化していきたい。

（被保険者代表）

資料6ページについて、健診受診者は事業者健診を含めて30万7,000人、分母が44万7,000

人ということで、約 30%の 14 万人程度が未受診者であるという認識でよいのか。

- ⇒ 健診未受診者ではなく、多くの方が受診していただいているが、生活習慣病予防健診を受診しておられず、かつ協会が「事業者健診」として健診データを取得できていない場合であるという認識である。

（被保険者代表）

事業者健診においてはデータ取得が 3 万人といったところか。

- ⇒ ご認識のとおり。広島支部は取得率が全国平均を下回っており、近隣支部と比べても低い。まだまだ取得できる見込みがあるのでさらなる取得に向けた計画を策定し取り組んでいきたい。

（被保険者代表）

未治療者受診勧奨、特定保健指導、事業者健診データ取得、いずれも事業者を巻き込んだ施策が必要であるといえる。

そこで、要治療者受診勧奨に関して事例を紹介したい。自社では、高リスク者に対してまず産業医から受診すべき診療科等にかかる文書を作成いただき、その文書を衛生管理者から従業員に通知して、必ず 1 か月以内に受診するよう指示を行う。その後の受診状況を報告させるといった流れで、要治療者を 100%受診させている。事業者に協力を依頼するのであればこういった流れを参考にされたらよいのではないのか。

（学識経験者）

資料 6 ～ 7 ページの被扶養者の母数について質問であるが、令和 6 年度から 7 年度にかけて特定健診における被扶養者の対象者数の減少割合が 3.5%であるのに対し、特定保健指導の対象者の減少割合は 16%と差が大きくなっていることについて、何か背景はあるのか。

- ⇒ 特定健診の対象者の減少については社会保険適用拡大により、被保険者への移行が増加した影響や、単身世帯の増加等の要因が影響していると思われる。

特定保健指導の対象者が減少した具体的な要因については特定が難しいが、例年における特定保健指導の該当率を踏まえると、令和 7 年度が特別に少ないということがいえる。

- ⇒ 加入者数の推移については参考資料も併せて確認いただきたい。被扶養者数についてはおおむね 2 %後半から 3 %程度、対前年比で減少している。

（学識経験者）

先ほど他の評議員からもあったが受診勧奨文書については、ナッジ理論を活用する等、受診率向上のための工夫を行っているのか。

- ⇒ 内容は一律なものではなく、今年度からリスクが高い検査項目に応じて、対象者にそれぞれ内容をカスタマイズするよう工夫している。この数値が高いと今後このような疾患を発症するリスクが高くなるという情報や、すぐに受診すればまだ大丈夫、といった内容とする等、対象者ひとりひとりに気づきを持っていただけるような文書の作成に取り組んでいる。

【企画総務グループの事業実施結果に対する個別意見】

（学識経験者）

広島支部はジェネリック医薬品の使用割合について、長らく課題としていたが、令和7年度はKPIを達成し、これまでの取り組みの成果が発揮されたものであると評価したい。今後も継続して取り組んでいただきたい。

⇒ KPIを達成することができたが、全国順位としては35位と低い。地域フォーミュラの推進によりジェネリック医薬品の使用割合が伸びるため、今後はこの点について重点的に取り組んでいきたい。

議題3. その他報告事項

事務局より「その他報告事項」について、資料に沿って説明。個別の意見等については、特段なし。

特記事項

傍聴者 2名（令和8年10月～新任予定評議員）

次回は令和8年10月に開催予定